学校番号	1006

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	日本語文法Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

積極的に周りと日本語でコミュニケーションをとることが日本語のレベルアップに繋がると思います。普段の学校生活の中で「読む、聞く、話す、書く」の四技能を身につけるように努力し、進路に合わせて、日本語能力試験を積極的に受験してください。

2　学習の到達目標

１．学習知識の強化：日本語能力試験 N2 および N1 レベルの文法を習得し、正確に理解し活用できるようにする。
２．試験対策：JLPTN1 と N2 の文法を全体的網羅できるようにする。
３．実践：生活言語と学習言語をある程度身につけた段階であることを踏まえ、進学や就職に必要な日本語の運用能力を身につける。学習した文法を活用できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文法項目の理解を深めている。読むこと、書くこと、話すこと、聞くことの４技能を使ってコミュニケーションを取ったり、文を書く際に適切に活用できたりする技能を身につけている。	日本語文法表現の理解を深め既習の文法表現を活用し、文章を書き、発表などの活動を行うことができる。また、リスニング課題にも取り組んでいる。	主体的、自律的に日本語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 課題や小テストに積極的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

第一学期		**N2 レベルの文法学習**: ・条件表現（～ば、～たら、～なら） ・比較表現（～より、～ほど、～くらい） ・様態・推量表現（～そうだ、～らしい） ・助詞の使い方	・文法項目の理解 ・実践練習を通じて使い方を強化。 ・学習した文法を活用し、実践的に正しい例文を作れるかをはかる	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度
		N2 レベルの文法学習: ・因果関係表現（～ので、～から、～によって） ・受動態・使役態（～られる、～させる） ・敬語（尊敬語・謙譲語）の応用。 ・常用副詞の学習	・文法項目の理解 ・学習した文法を活用し、実践的に正しい例文を作れるかをはかる ・模擬問題を解きながら試験形式に慣れる	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度
第二学期		**N1 レベルの文法学習**: ・因果・条件表現（～ものだから、～以上は） ・副詞的表現（～ながらも、～つつも等） ・複合助詞・接続詞（～にかかわらず、～にもかかわらず、～つつある）	・文法項目の理解を深める ・文法を使った実践作文を行う。	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度
		N1 文法応用と試験対策: ・～ざるを得ない、～に限らず、～にほかならない ・文脈中で文法を活用する練習	・文法の応用 ・模擬問題を解きながら試験形式に慣れる	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度
第三学期		**総合演習と応用練習**: ・ N2/N1 文法を用いて作文作成（自分の意見や考えをまとめる）。	・プレゼンテーションやディベートを通じて高度な日本語表現を練習。	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度
		・JLPT に向けて文法の総復習する ・意見文を書けるようにする	・JLPT 模擬試験 ・模擬試験を通じて試験準備を徹底する。	・模擬試験 ・小テスト	・発表 ・作文	取り組み態度、課題プリントの完成度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度